



久保田由夫 ほっと通信



NO. 112
2021. 5月号
【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<右側のQRコードで、久保田由夫のブログがご覧いただけます。>



参院長野補欠選挙は、羽田次郎氏が初当選

◆菅政権発足後初の国政選挙となった参院長野選挙区、衆院北海道2区、参院広島選挙区で市民と野党の統一候補が勝利しました。◆コロナ対策で無為無策を続け、「政治とカネ」問題でも反省のない菅政権に対する国民のきびしい審判です。◆市民と野党は3選挙区の全てで安保法制廃止・立憲主義回復を基本とする政策協定結び、幅広い団体・個人が力をあわせました。◆総選挙に向けては、野党間での「共通政策、政権のあり方、選挙協力」での真剣な協議が必要です。◆上田市の各部署から「第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画」「上田市災害ハザードマップ(改定版)」「東日本台風の検証報告」「上田市地球温暖化対策地域推進計画(第二次上田市環境基本計画増補版)」「第二次上田市スポーツ推進計画」「小中学校のあり方に関する基本方針」「第3次上田市障がい者基本計画(第6期上田市障がい者福祉計画)(第2期上田市障がい児福祉計画)」「上田市スマートシティ化推進計画」が冊子となって届いた。今後の市政運営の指針となるものです。(くぼた よしお)



<季節の写真>

依田川の鯉のぼり - 今年は、医療従事者への感謝とエールをこめて「青色の鯉のぼりに統一。31回目となる。

「財政支援」「周辺整備」など鹿教湯三才山リハビリテーション病院再編成建設事業で懇談



4月27日、丸子・武石市議議会議員連絡会(写真左から齋藤市議、佐藤市議、久保田市議、金子市議、松尾市議)は、市役所において土屋市長をはじめ上田地域広域連合を含む関係部署と鹿教湯病院の再編成建設工事に関連して次の項目に沿って懇談しました。

<財政支援について>

3月17日の地元説明会資料によると、「総事業費は約69.9億円(税込)であり、国県補助金は概算予算(案)約11.4億円」となっています。鹿教湯三才山リハビリテーションセンターは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(障害者総合支援法:令和2年4月1日施行)の指定療養介護事業所として大きな役割と実績のある医療機関です。

上田市令和3年度実施計画(令和3年度～令和5年度)では、公的病院支援事業として「病院機能の再編成に向けた鹿教湯病院に対する財政支援」が項目計上されています。今回の鹿教湯三才山リハビリテーションセンター再編成建設事業にあたり、上田市及び上田地域広域連合として可能な財政支援について。

- ◇市長からは、「なんらかの形で財政支援をしたい」
- ◇広域連合からは「現在協議中である」とのことでした。

<鹿教湯三才山病院の周辺整備について>

ア 鹿教湯三才山病院は、

医療行為として歩行訓練などで歩道(公道)を利用しています。

また、鹿教湯地域には周遊できる遊歩道や「ホールdeアクティブウォーキング技術研究会認定

コース」もあり、地域住民や観光客、リハビリにも活用されているため、継続的な遊歩道を含めた道路整備の推進について。

イ 病院職員の駐車場は、鹿教湯および町域にあり駐車場からは徒歩で通勤しています。歩道の安全確保対策や街路灯の整備について。(グリーンベルトの設置や防犯灯の増設など)

ウ 丸子温泉開発(株)は、温泉の2・5号および3・4・6号中継所に続いて集分湯場の改修、その後各利用者への配管等の更新事業が予定されています。今後の道路整備は、予定されている他の事業と連携について。

○丸子地域自治センターからは、「今年度みどり橋の架け替え工事を予定している。」とのことでした。

(3) 鹿教湯三才山病院とまちづくり

地元説明会では、「メディカルホットスプリングタウン(仮称)」「病院の敷地内での『あさつゆ鹿教湯店』」「病院内の売店等で地域住民の買い物」「病院内託児所バンビの家や西内保育園」「西内小学校の児童数減少」など病院の地域貢献について参加者と病院側で意見交換がされました。具体化をすすめるための関係者との協議をすすめることについて。

○市長からは、「丸子地域自治センターにおいて道路整備などの構想を関係者などと協議させたい」とのことでした。

